

<b>施設名称</b>	たなかデイホーム	<b>指定管理者の名称</b>	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
-------------	----------	-----------------	------------------

**1. 指定管理者の概要**

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和61年10月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	いけのはたデイホーム
③経営状況	(20年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,454,705,943 円, 歳出 2,433,180,998 円, 収支差額 21,524,945 円 [公益事業特別会計]歳入 327,444,890 円, 歳出 380,680,744 円, 収支差額▲53,235,854 円

**2. 施設の概要**

①所在地	台東区日本堤2-25-10
②設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
③利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
④開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
⑤規模	延べ床面積 5,980㎡のうち155㎡ 田中小学校内 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1階の一部
⑥人員体制	4名（内訳）施設長(1), 介護職員(常1, 非2)

**3. 事業（サービス提供）の概要**

①委託事業	①通所介護サービス（送迎・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・口腔ケア）、②介護予防通所介護サービス（送迎・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・口腔ケア・アクティビティ等）（定員15名）
②自主事業	自主事業は行っていない

**4. 施設の稼働状況等**

20年度延べ利用人数

単位時間（一般）	通所介護 6~8	通所介護 4~6	通所介護 3~4	通所介護 2~3	介護予防通所 介護	計	利用率(%)
前期	0	897	49	0	673	1,619	68.7%
後期	0	947	52	1	672	1,672	72.4%
計	0	1,844	101	1	1,345	3,291	70.5%

**5. 予算決算の推移** (単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	3,624,000	1,559,000	6,061,000	0	0
	料金収入等	22,282,000	26,394,000	22,541,000	26,004,000	26,376,000
	管理経費	25,906,000	27,953,000	28,602,000	26,004,000	26,376,000
決 算	委託料	3,623,422	1,558,292	5,982,769	0	
	料金収入等	20,225,516	23,192,159	26,702,398	38,363,559	
	管理経費	23,848,230	24,672,220	18,346,659	23,399,975	
	収 支	708	78,231	14,338,508	14,963,584	

**6. 指標**

指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度
利用率（一般デイ）	%	85.0	81.7	70.5	

7. 評価項目		3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目	
評価の観点	評価	項目	
①事業の運営 平均 [2.0]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [-] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]	
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]	
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]	
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]	
8. 評価		A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	
評価の観点	評価	説明	
①事業の運営	A	全体的に良好な事業運営が行われている。新たなプログラムを取り入れ、サービスの向上にも努めている。	
②施設の維持管理	A	全体的に良好に管理されている。清掃や警備など適切に業者に委託し、委託内容も確認を確実にしている。	
③利用者の満足度	A	20年度の利用率は下がっているが、サービスの質の向上に努め、現在は利用率が上昇してきている。また、利用者の満足度調査の結果も概ね良好である。	
④歳入歳出	A	収支計画が対前年度比より若干下がり、管理経費も増大しているが、20年度から事業運営補助をなしとし、利用料金のみでの運営が行われている。	
⑤総合評価	A	概ね良好な事業運営が行われている。	
9. 課題への対応等			
<p>収支計画について改善が必要だが、全体として良好なサービスの提供がなされている。</p> <p>今後は更なるサービス水準の向上に取り組み、利用率の向上につなげ、また管理経費の縮減を図ってきたい。</p>			